

競技注意事項

1.規則

本大会は、2016年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本大会申し合わせ事項によって行う。

2.練習について

練習はプログラム記載の指定された会場で日程に従い実施すること。

3.招集について

- (1) 招集所は、競技場第1ゲート付近(100mスタート外側)に設ける。
- (2) 招集開始時刻・完了時刻は、別紙競技日程及び招集時間のとおりとする。
競技者は招集開始時刻から完了時刻までの間で、最終確認を受けること。その際係員にナンバーカード・名前・校名の点検を受けること。
- (3) 招集後は、係の指示・誘導に従い競技場所に移動する。
- (4) フィールド種目・混成競技については下記のとおりとする。

種目	招集開始時刻	招集完了時刻
跳躍	競技開始 55分前	競技開始 40分前
棒高跳	競技開始 95分前	競技開始 80分前
砲丸投 やり投	競技開始 55分前	競技開始 40分前
円盤投 ハンマー投	競技開始 65分前	競技開始 50分前

種目	招集開始時刻	招集完了時刻
混成競技	トラック種目	
	競技開始 30分前	競技開始 15分前
	フィールド種目	
	競技開始 55分前	競技開始 40分前

*混成競技の招集は、1日目、2日目の最初の種目のみ上記の招集一覧表のとおり招集所で行う。2種目以後は、混成競技者控室で確認を受け、係の指示に従うこと。

- (4) 招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権とみなし出場を認めない。
- (5) 2種目を同時に兼ねる競技者は2種目同時出場届を競技者係に提出し、競技の進行に支障のないようにすること。
- (6) 入退場時の移動は、競技役員の指示に従い規律ある行動をとること。
- (7) リレーのオーダーは、第1組の競技開始1時間前までに、オーダー用紙を競技者係に提出すること。
全ラウンドにおいてオーダー用紙提出の後、必ず招集時間内に招集手続きを完了すること。
- (8) 棄権する場合は監督会議時、また大会当日は招集開始時刻までに競技者係に棄権届を提出すること。
オーダー用紙、棄権届、2種目同時出場届は招集所でも準備しますが、各校でご準備ください。

4. ナンバーカード

- (1) ナンバーカードは胸と背に一枚ずつ確実につけること。ただし跳躍競技に出場する競技者は胸または背に一枚つけるだけでもよい。

(2) 次の種目は本部の用意するナンバーカード(通し番号)で競技を行う。

男子：5000m 5000mW 女子：3000m 5000mW

(3) 800mまでのトラック競技ならびにリレー競技の腰ナンバー標識は各校で用意すること。

(4) 4×400mRの腰ナンバー標識については、2走・3走・4走は右腰につけること。

5. トラック競技について

(1) 距離が800mまでの種目及びリレー競技

次のラウンドへの進出者決定の際、同成績の競技者(チーム)がいて、レーンが不足する場合は、1/1000秒までの写真を読み取りタイムを判定する。着差が無い場合は抽選を行う。

(2) 1500m・3000mS C

写真を1/100秒まで読み取り順位、成績を判定する。決勝進出者決定の際、同成績の競技者は規定人数に追加して決勝に進出させる。

(3) 男子5000mは17レーン、男子5000mWは18レーン、女子3000mは27レーンからアウトスタートとする。

(4) 5000m決勝は18分、3000mS C予選は12分、女子3000m決勝は13分、5000mW決勝は男子32分・女子37分で打ち切りとする。

6. 跳躍競技について

(1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。

走高跳 (男子) 練習 (1m60)1m65,70,75,80,85,88,91,94 以後3cmずつ

(女子) 練習 (1m30)1m35,40,45,48,51,54,57,60 以後3cmずつ

※混成競技の走高跳は2ピットを使用する。最初の高さについては男女とも1日目に競技開始調査用紙を記入・提出し協議の上決定する。その後のバーの上げ方は3cmずつとする。

棒高跳 練習 (2m20)2m40,2m60,2m80,3m00,3m20,3m40 以後10cmずつ

◇同成績の場合における順位及び代表決定のためのバーの上げ下げは走高跳(男女共)2cm、棒高跳5cmずつとする

(2) 走幅跳のピットはスタンド側をAピット、トラック側をBピットとする。決勝はBピットで行う。男子Aピットは試技順1番～16番、Bピットは試技順17番～33番、女子Aピットは試技順1番～17番、Bピットは試技順18番～34番とする。

(3) 三段跳の踏切板は、11m地点に設置する。

7. 投てき競技について

(1) 記録測定を行う距離は原則として下表による。(ただし混成競技はこの限りではない)

	砲丸投	円盤投	ハンマー投	やり投
男子	10m00	25m00	20m00	42m00
女子	8m00	20m00		30m00

8. フィールド競技マーカーについて

(1) フィールド競技は、主催者が用意したマーカーを置くことができる。跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側(走高跳では助走路内)に2カ所置くことができる。サークルから行う投てき競技では、マーカーを1カ所だけ置くことができる。そのマーカーは、サークルの直後あるいはサークルに接して置くこと。使用することができるマーカーは、競技役員が現地で渡す。そのマーカー以外は使用してはならない。

9. 競技用具

(1) スパイクのピンはオールウェザー用とし、長さは9mm以下とする。ただし走高跳・やり投については12mm以下とする。
(2) 競技用具は、競技場そなえつけのものを使用する。ただし、棒高跳のポールおよび投てき用具については、検査のうえ、個人のもも使用を認める。棒高跳のポールの検査は現地で行う。投てき用具の検査は正面北ゲート(A)で60分前までに行う。

9. スタート

(1) スタートの合図はイングリッシュ・コマンドとする。「オン・ユア・マークス」、「セット」

(2) 競技規則第162条7項により、不正スタートは1回のみとし、その後に不正スタートした競技者は全て失格とする。

(3) 混成競技は、1人が2回不正スタートで失格とする。

10. その他

(1) 競技場所への移動は、他の競技の妨げとならないよう、十分注意すること。また、カラーコーンを設置してある場所はそれに従うこと。特にメインスタンド前の通行は慎むこと。

(2) 競技者は審判役員の指示に従い事故等のないよう留意すること。また、「組」「試技順」を確認し競技進行に協力すること。

(3) トラック種目において、5000mW以外の種目では6位までの6名が中国大会出場資格を得るが、6位が着差無しの場合の人数はこの限りではない。また、5000mWにおいては上記内容が4位までとなる。

(4) 走高跳・棒高跳において、6位入賞者が6名を超える場合は、中国大会出場資格者6名を決定するため、中国大会出場決定戦を行う。

(5) 混成種目においては、4位までの4名が中国大会出場資格を得る。

(6) 雨天練習場では、走練習のみとする。

(7) リレーで使用したマーク(テープ等)は各校で準備すること。また、使用後は各校が責任をもって除去すること。

(8) 競技者以外の者はトラック・フィールドに入らないこと。

(9) 貴重品は各自、各学校で責任をもって保管し、盗難・紛失等に十分注意をすること。

(10) 各自出したゴミは持ち帰りとする。

(11) 競技場周辺の店舗、民家、また運動公園利用者に迷惑となる行為は厳に慎むこと。